

はじめに

(令和4年度事業の概要)

1. 背景

近年、我が国における交通事故死者数は減少傾向にあるものの、交通事故が国民全体の重大な問題であることに変わりはない。そして、交通事故による被害者やその家族・遺族は、事故後、深い悲しみやつらい体験から、様々な悩みを抱えながらの生活を強いられており、交通事故被害者等に対する支援の一層の充実が必要である。

2. 目的

交通事故被害者等（交通事故に遭った被害者やその家族・遺族をいう。以下同じ。）が、深い悲しみやつらい体験から立ち直り、回復に向けて再び歩み出すことができるような環境を醸成し、交通事故被害者等の権利・利益の保護を図ることを本事業の目的とする。

3. 事業の概要（敬称略）

（1）交通事故で家族を亡くした子供の支援に関するシンポジウム

（令和4年11月1日（火）・熊本県、ライブ配信及びオンデマンド配信）

こどもの頃に交通事故で家族を亡くしたこどもの支援に向けて、広く一般に情報提供することを目的として、シンポジウムを開催した。今年度は、テーマを「交通事故できょうだいを亡くした子供の支援」として、専門家による講演や、対応事例の紹介を行った。

●講演「交通事故で家族を亡くした子供のための

トラウマインフォームドな社会づくり」

講師：武庫川女子大学准教授 大岡 由佳

●対応事例「きょうだいを亡くした交通事故被害者等への支援事例」

講師：グリーフサポートやまぐち代表 京井 和子

●体験談の発表

遺族：松本（平成15年（当時14歳）、兄を交通事故で失う）

竹山 弦伸、佳克（平成28年（当時8歳、6歳）、弟を交通事故で失う）

中江 龍生（平成24年（当時27歳）、妹を交通事故で失う）

●質疑応答

コーディネーター：

飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会幹事

井上 郁美

(令和4年度交通事故被害者サポート事業検討会委員)

専門家:

元同志社大学教授、現同大学研究開発推進機構嘱託研究員

川本 哲郎

(令和4年度交通事故被害者サポート事業検討会座長)

(2) 交通事故被害者等支援に関する意見交換会

(令和4年10月18日(火)・オンライン開催)

交通事故被害者等の支援に向けて、関係担当者間の連携を強化し、支援業務の充実を図るため、意見交換会を実施した。

●体験談の発表

遺族：道下 亜美(平成29年(当時14歳)、父を交通事故で失う)

●支援に携わる方からの事例紹介「こどものケアと心の支援

ー学校現場での支援を中心にー

講師：武蔵野大学心理臨床センター相談員、横浜市スクールカウンセラー・スク

ールスーパーバイザー、臨床心理士・公認心理師 山下 由紀子

●意見交換

●意見交換の共有、質疑応答

(3) 自助グループ運営・連絡会議

(令和4年9月29日(木)・オンライン開催)

交通事故被害者等に接する立場にある者の資質の向上を図るとともに、交通事故被害者等の自助グループ(「同じようなつらさを抱えた者同士が、お互いに支え合い、励まし合う中から、問題の解決や克服を図り、被害に遭う前の平穏な生活を再び取り戻す」ことを目的に集うグループのことをいう。以下同じ。)活動において、交通事故で高次脳機能障害を負った被害者の支援に関しての理解を深め、自助グループ活動に資すること等を目的として、専門家による講演や、被害者及び家族による体験談の紹介を行った。

●講演「交通事故による高次脳機能障害を取り巻く状況と必要な支援」

講師：やまぐちクリニック院長・脳神経外科医 山口 研一郎

●体験談「交通事故で高次脳機能障害を負った被害者とその妻の困難な道のり」

被害者及び家族：滋賀県在住 交通事故被害者A及び交通事故被害者の妻B子

●質疑応答

本事業は、いずれも警察庁が株式会社アステムに委託して実施した。

注1) ここでいう交通事故とは、道路交通法第2条第1項第1号に規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死亡又は負傷を伴うもの（人身事故）をいう。

4. 検討会

(1) 目的・内容

被害者学、心理学、被害者支援、遺族心理に関する有識者からなる交通事故被害者サポート事業検討会を設置し、令和4年度交通事故被害者サポート事業の実施方針、実施方法、事業総括等について検討する。検討会は、有識者7名の検討会委員により3回開催し、各事業の進捗状況の管理を行うとともに、事業報告書等を作成する。

(2) 委員（敬称略・順不同）

- ・元同志社大学教授、
現同大学研究開発推進機構嘱託研究員 川本 哲郎（座長）
- ・飲酒・ひき逃げ事犯に厳罰を求める遺族・関係者全国連絡協議会幹事 井上 郁美
- ・（公社）全国被害者支援ネットワーク理事 和氣 みち子
- ・武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科准教授、
武庫川女子短期大学部心理・人間関係学科准教授 大岡 由佳
- ・（公社）被害者支援都民センター犯罪被害相談員、
（NP0 法人）いのちのミュージアム理事 中土 美砂
- ・追手門学院大学心理学部心理学科准教授 櫻井 鼓
- ・警察庁交通局調査官 遠藤 健二（令和4年8月まで）
警察庁交通局交通企画課交通安全企画官 遠藤 健二（令和4年8月から）

(3) 開催概要

①第1回検討会（令和4年7月27日（水）・オンライン開催）

- ・令和4年度交通事故被害者サポート事業の実施方針及び実施方法等

②第2回検討会（令和4年12月19日（月）・オンライン開催）

- ア 交通事故で家族を亡くした子供の支援に関するシンポジウムの実施結果報告
- イ 交通事故被害者等支援に関する意見交換会の実施結果報告
- ウ 自助グループ運営・連絡会議の実施結果報告
- エ 令和4年度交通事故被害者サポート事業報告書 目次案の報告

③第3回検討会（令和5年2月14日（火）・オンライン開催）

- ア 令和４年度交通事故被害者サポート事業報告書最終案検討
- イ 本年度事業総括

※各章における講演や体験談等の記述については、被害者等の方々の率直な思いを尊重してまとめたものです。また、掲載することにつき御本人の同意を得ております。